

ガバナー月信 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

<http://www.rid2550.com/>

Governor's Monthly Letter

2014-2015

10月号

Vol.

4



那須：姥ヶ平の紅葉 撮影：長嶋 一郎



国際ロータリー第2550地区
ガバナー 長嶋 一郎

明るく楽しいロータリーを創りましょう

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	物故会員	6
米山記念奨学委員会報告	2	8月会員増強・出席報告	7
ガバナー公式訪問だより	4	文庫通信	7
ガバナーノミネー候補者推薦について	5	コーディネーターニュース8月号	8
新入会員紹介	6	ロータリーの友を読んで	9



ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある

- 第1** 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2** 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3** ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4** 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1. 真実かどうか？
 - 2. みんなに公平か？
 - 3. 好意と友情を深めるか？
 - 4. みんなのためになるかどうか？
-



「職業奉仕と米山奨学会について」

2014-15年度
国際ロータリー2550地区ガバナー

長 嶋 一 郎

10月は職業奉仕と米山月間です。どちらもロータリーにとって大切なことであり、ロータリアン一人一人がよく理解していなければいけません。

日本のロータリアンは職業奉仕の理念をとっても大切にしており、どのロータリークラブも職業奉仕委員会を中心に、職業奉仕についてしっかり話し合われています。ロータリアンはまず職業を通じて地域社会と世界に奉仕する事が何より大切であり、職業奉仕がしっかりできなければロータリアンの資格はありません。(現役の方も相談役の方もいます。)

有名なシェルドンの「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の基本理念を日本のロータリアンは古くから受け入れ、実践してきました。単に自分だけ儲けようという商売から脱却して、他人にたいしてサービスする事が事業を成功させる方法であり、実業人を成功に導く方法は、利益を他人とシェアする事であるという事は、成功した実業家の方はよくご存じと思います。

こうした優れた職業人が日本のロータリアンであり、さらに職業奉仕だけでなく、みんなで集まって地域社会のため、世界のために奉仕活動をしています。

それは何よりも世界平和に役立っています。「奉仕を通じて平和を」と、「田中元 RI

会長がおっしゃいましたが、日本のロータリアンは、奉仕活動で誰よりも世界平和に貢献してきたと思います。

米山奨学会は日本のロータリーの奨学会であり、単に優秀な学生のための奨学会ではありません。ロータリーを学び、ロータリーを共に実践してくれる学生でなければ、奨学金を授与する事はできません。そのために世話クラブがありカウンセラーの方が努力しているのです。私は奨学生の方に、クラブの例会、ロータリーの行事に積極的に参加していただき、クラブの皆様は奨学生にロータリーの精神をしっかり教えていただきたいと思えます。

「奉仕を通じて平和を」の理念を学んでいただければ世界は平和になります。

まず私たちの米山奨学生がロータリーの理念を学び、ロータリーを実践する事で、世界が平和になっていけば素晴らしいですね。

第2550地区の皆様、今年も職業奉仕・米山月間を充実させてください。よろしく願いいたします。



米山月間について

2550地区ロータリー米山記念奨学会委員会委員長 恩田 光憲

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 定 款

第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、勉学又は研究のため来日し、わが国の大学等教育機関に在籍する外国人に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

(1) 奨学金の支給

(2) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業については、日本全国において行うものとする。

この定款の目的に沿って、事業が進められています。定款をご覧になったことがある方は殆どおられないと思い、掲載させていただきました。

長嶋一郎ガバナー地区方針と目標は

- ・米山奨学生支援による国際理解と世界平和
- ・米山記念奨学会地区目標：

会員一人当たり18,000円

米山奨学金制度は全国のロータリアンからの貴重な寄附を財源としており、全額が米山奨学事業に使われています。「将来、日本と世界を結ぶ懸け橋になって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する」という事業の使命が達成するには、皆様の継続的なご理解とご協力が必要です。

以前は1,000人いた奨学生は、800名、700名と減少し、次年度は720名の採用となります。採用数が減少してもこの事業が継続されているのは、創業当時から60年間、先輩ロータリアンたちから受け継がれた、次世代の平和を作る人材、日本を愛し良き理解してくれる人材となってもらいたい、という期待があるからではないかと思えます。

そして、最近その成果の花が咲き始めています。台湾には二つの米山学友を中心としたロータリークラブが出来ています。数年前地区大会でスピーチしていただいた徐重仁さんは台北東海RCの創立会長です。日本国内にも米山学友中心に創立されたクラブが三つあります。東京米山友愛RC、東京米山ロータリーEクラブ、さい

たま大空RC、がそれです。日本国内には31の学友会がありますが、海外にも学友会が6か国で作られています。台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、そして今年はモンゴルにもできました。その他、「米山学友の群像vol.4」をご覧になって頂くと国内外で活躍する米山学友の方々のことを見て頂くことが出来ます。学友会は、ロータリアンとの絆を結び、学友同士の友情を深める役割を果たしています。台湾では、台湾の米山学友がカウンセラーとなって日本人留学生に奨学金を支給しています。2014学年度は6年目で、採用数は2名です。(月額25,000台湾ドル・9月末で約9万円)

米山記念奨学会の板橋敏雄名誉理事長(本年9月より)がよく話されますが、7月号のロータリーの友に掲載されている、中国の初代学友会会長の姫軍さんのスピーチの記事の内容は、まさにその成果の事実が示されているように思えます。「『我々ほど日本を知っている中国人はいないし、我々ほどに日中関係の発展を望んでいる中国人はいない。頂いたお金だけではなく、恩義をどのように次の世代に伝えるかが、我々の使命ではないか』姫軍さんだけではなく、多くの米山学友の抱くこうした思いは日本のロータリアンのご支援、そして、世話クラブのご尽力によるものと確信します。」と、板橋PGは書かれていました。

日本人の学生は支援しないのか、なぜ中国人ばかり、という声をよく聞きます。是非、米山がこれまでの60年間歩んだ歴史、築かれた成果をご理解いただき、ご協力をお願い致します。

現在の留学生事情と米山奨学生への期待

宇都宮大学 留学生・国際交流センター 吉田 一彦

ロータリアンの皆様には、日頃より留学生のために経済的ご支援をいただくとともに、世話クラブ例会や奉仕活動を通してご指導を賜り、大変感謝しております。留学生に専門指導をする教員として、元留学生として、御礼申し上げます。このような研修会の席で皆様方と交流・意見交換できることは大変有意義なことです。

私自身は、1986-87年に11か月間フランスのモンペリエに、その後1か月間イギリスのバースに、語学留学しました。そのとき有意義な経験ができたからこそ、留学生をサポートする現在の仕事を選びました。そして、今年の夏、2週間だけですが、現在の留学事情を知るとともに自分自身の経験を新たに意義づけるため、アイルランドのコーク市にある大学に英語の勉強をしに行きました。

前の留学のときは自分自身の低いコミュニケーション能力を悔しく思う気持ちが行動の原動力でした。今回はコミュニケーションの面で困ることもなく、短期間に語学力を向上させること、周りの人とできるだけ話することに力を傾けました。その結果気付くことができたのは、コミュニケーションの場で「貢献」をすることの重要性でした。「貢献」とは、興味深い話題の提供、他者の発言へしっかりとリアクションを返すこと、他者の発言の不十分な面を補うこと、話の整理をしたり論点をはっきりさせたりと、さまざまにできることです。そして、そのような小さい努力のすべてが自分自身の語学力の向上という結果に結びつきました。また、このような「貢献」はクラスの中だけでなく日常のコミュニケーションにもまったく同様に有用なのだということにあらためて気づかされました。

こうした実感には、アイルランドとそこで出会った人々の特徴が多分に影響しています。アイルランドには、700年ものイギリスによる植民地支配、大飢饉と海外移住、言語・文化・宗教面の多重性など、他にあまり類のない経験や特徴を持った国で、現在の観光産業には目を見張るものがあります。訪問者に対し話したくて仕方がないかのようにアイルランド人たちは話し好きで、彼らの英語の表現の豊かさが印象的でした。500万にも満たない人口の国からノーベル文学賞受賞者が4人も出ていることも納得できます。その一方で、人々の日本やアジアへの関心は必ずしも高いとはいえません。会話に参加しているだけでは、取り残されがちになります。しかし、こちらが話す意志を態度に表せば、聞いてくれないということはありません。米山奨学生の皆さんは、日常の会話で、この点をどのように感じているでしょうか。

外国語学習を真剣にやり直した20代半ば頃読んだコーランには、「人びとよ、われは一人の男と一人の女からあなたがたを創り、民族と部族に分けた。互いに知り合うようにさせるために」という言葉がありました。私たちはこのとおり理解し合うべく出会っているのだと思います。アイルランドでは先生方に「あなたは違うが、日本人は恥ずかしがるばかりで、話そうとしない。聞く力・話す力が弱い。なぜか?」とよく尋ねられました。これは実は私自身、日本に留学中の学生たちに対して感じることです。日本人から良くない影響を受けているのではないかと心配になりましたが、本日ご出席のロータリアンの皆さんの声が大きくインタラクティブに活動と取り組む様子を見て、考えを改めました。

米山奨学生の皆さん。留学を日本や他の国の人々と話す機会としても捉えてほしいと思います。日本にいる今だからこそぜひ、理解し合うための力として、意識的に日本語能力を高める努力をしてください。また、「自分から提供できる話は何かないか?」と考えてみてほしいと思います。皆さんの国や皆さん自身について知識が少ない人こそ、関心を持って話を聞いてくれる人かもしれません。米山奨学生の3つの資質に「学業」と「異文化理解」に加えて「コミュニケーション能力」があることは、こうした意味で意義深いことです。

では、コミュニケーションの成果とはどんなことでしょうか。第1号奨学生が母国タイへ帰る際に東京RCの新田義実氏がバンコクRCへ宛てた手紙に次のようにあります。「彼は4年間、日本で多くのことを学びました。楽しいことばかりではなかったと思いますが、人間は基本的に同じであるとわかってくれたはずですよ。」(米山奨学金HPダウンロード資料より)この言葉は、私自身経験した東日本大震災直後の日本留学者の状況を思い出させます。パニックに陥ったりデマを信じたりして研究生活を投げ出した人や、親を安心させるためだけに帰国した人がいる一方で、周りの日本人とともに、慎重に情報を集め合理的な判断にもとづいて行動した人や、復興活動に参加した人、派遣元の大学から呼び戻しがかかっても自らの意志で留学をやり遂げた人もいました。私が勤務する大学でも在籍留学生数を一割以上減らし、今も震災前の数を回復していません。しかしその一方で、教師と留学生とが、また、留学生同士が、たくさん話すことで相互の信頼が深まり、同じ人間として共感できるということが、以前よりも強く感じられるようになったのです。

現在、政府の学生交流推進政策のおかげもあり、留学生を受け入れる環境は確実に整ってきていますが、以前からの懸案は残したまま、今後留学生数が増えるとも減るとも判断が付きにくい状況が続いています。懸案とは、定員割れを留学生によって補填するような高等教育の悪い意味の大衆化や、スローガンが先行しても内容の議論が不十分のままの「グローバル人材育成」や「英語教育強化」です。最近の若者の傾向だとされる「内向き志向」や「指示待ち人間」の増加ということも、再考する必要があるでしょう。

こうした状況がある今だからこそ、日本留学自体の意義が問われていると言って良いでしょう。米山奨学生の皆さんには、今後も自分自身の研究生生活と周りの人々との交流をさらに充実化することによって、ここまで述べてきたような共感を確認し、維持して欲しいと強く思います。また、留学生を受け入れる日本人としても、留学生に語って聞かされるよう心の豊かさをいつも持っていたいものだと思います。

最後に、カウンセラーの皆様へお願い申し上げます。奉仕活動などとおした協働の経験や、職業人として語りたいことを留学生に伝えるなど、大学とはまた違う交流の機会をこれまでどおり留学生に与えてくださいますようお願いいたします。ともに留学生をしっかりとコミュニケーションする人に育てる役割を担う者として、今後とも連携してまいりたいと存じます。

以上

鹿沼ロータリークラブ

日 時：2014年8月21日（木）
会 場：福田屋百貨店鹿沼店3F



会 長：鈴木 良男
幹 事：岩本 康史

8月21日（木）に長嶋一郎ガバナーと上原昭夫第7グループガバナー補佐をお迎えしてガバナー公式訪問が行われました。随行で村田地区会計長様、千保様にお越しいただきました。有り難うございました。

会長幹事との懇談会では、こちらの緊張を察してか穏やかに話を頂き、丁寧に活動の報告を聞いていただきました。特に社会奉仕活動、青少年奉仕活動について熱心に質問され、報告をさせて頂きました。また会報についても大変ご興味を示されていましたが、当クラブ自慢の会報があいにくと当日の準備が無く、後日メール版会報をお送りさせていただきました。予算をかけずに楽しい会報を発行してくださいとの励ましの言葉を頂きました。また、米山、財団の寄付は集まっているのかを大変気にかけ

ていらっしゃいました。例会はまずご挨拶を頂き、今年度テーマ「ロータリーに輝きを」について解説いただき、良いことを続ける「継続」とうまくいかなければ変える「変化」の重要なことを教えて頂きました。その後すぐにクラブ協議会となり、各委員長より事業計画の発表とガバナーとの質疑応答がなされました。特に職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕の活動の報告に熱心に耳を傾けられ、お褒めの言葉を頂きました。また会員増強、出席推進につきましてもアドバイスを頂き有り難うございました。

僅か1時間の間ですが、たくさんのことを教えて頂きとても内容の濃い例会となりました。例会終了後は和やかな雰囲気の中で記念撮影を行い、楽しい時間はあっという間に終了しました。

岩舟ロータリークラブ

日 時：2014年8月28日（木）
会 場：岩舟町商工会



会 長：川島 淳一
幹 事：時田 久雄

8月21日（木）長嶋一郎ガバナー、田澤ガバナー補佐を、例会場である町商工会館にお迎えしてのガバナー公式訪問が開催されました。少人数であるため、懇談会より全会員が参加し、川島会長から歓迎の挨拶とクラブの現状などを話され和気藹々と進行しました。

例会では長嶋ガバナーより、自らの信念と、今年度に対する貴重な卓話を戴きました。

例会終了後、炉辺会合へと進みましたが、これ

からのクラブ運営に対するアドバイスを受け終始和やかな意見交換が出来た事に大変感謝しております。

この有意義な機会を今後のクラブ運営に活かしていきたいと思っております。

ガバナー公式訪問だより

西那須野ロータリークラブ
塩原ロータリークラブ

日 時：2014年8月28日（木）
会 場：いとう家



会 長：益子 浩
幹 事：渡邊 将宏

会 長：菊池 悟
幹 事：鈴木 汎

本日は、塩原ロータリークラブと合同で長嶋 一郎ガバナーの公式訪問が行われました。16時30分長嶋ガバナーは、足取りも軽くお見えになりました。（本日2回目の公式訪問にも関わらず。）
会長幹事会は、森本ガバナー補佐も同席され、和やかな雰囲気の中、沢山のご助言を賜り45分間が大変短く感じられました。塩原ロータリークラブの会長幹事会のあと、18時30分より大田原ロータリークラブ直前会長 蜂巢 貞美様も同席され合同例会が始まりました。長嶋 一郎ガバナーの卓話も、久しぶりの第1グループの輩出のガバナーとのことで、肩の荷を降ろし卓話に集中することができました。例会後のクラブ協議会では、20時30分までしっかり、討論する事が出来ました。各委員長の今年度の計画とガバナーの助言で始まりましたが最後には、

入会1年～5年くらいの会員のガバナーへの質問が多数寄せられました事は、まさに、当クラブがロータリーの活動に積極的に取り組んでいる現われではないのでしょうか。昨年もそうでしたが、せっかくのガバナー公式訪問との事で、「もう少しガバナーとお話がしたい。」と有志10名くらいで盃を酌み交わしながら22時30分ごろまで、延々とロータリー談義に花を咲かせました。
長嶋ガバナーにおかれましては、午前中より公式訪問があり、夜10時過ぎまでお付き合い頂き大変申し訳ありませんでした。しかしながら、当クラブにおきましては、クラブ活性化に充実した大変有意義な一日でありました。心より御礼申し上げます。

国際ロータリー第2550地区 2017～2018年度

ガバナーノミニー候補者推薦について

ガバナー 長嶋 一郎

国際ロータリー細則13条13.010ガバナーの指名と選挙に従い、地区内の各クラブで2017～2018年度ガバナーノミニー候補者がございましたら、2014年12月31日までにガバナー指名委員会委員長宛文章にて（書式任意）提案してください。

なお、推薦については、手続要覧の国際ロータリー細則第15条15.070～

15.070.5 ガバナーノミニーの資格条件を満たす者であることを要します。

また、地区ガバナー指名委員会が地区ガバナーノミニーの選出を行うに際し、その選出の範囲は、国際ロータリー細則第13条13.020.5における規定に基づき地区内クラブによって提案された氏名に限定されるものではありません。ご了承ください。

2017～2018年度選出
ガバナー指名委員会委員長 比企 達男

新入会員紹介



すず き つね みつ
鈴木 恒充
氏家 R C
(株)伸興建設
代表取締役

平成26年6月26日入会

よろしくお願いいたします。



おさ かね たか ひろ
長壁 孝広
足利 R C
奥澤利夫法律事務所
勤務弁護士

平成26年7月2日入会

ロータリークラブの公益活動を通じて社会貢献に努めたいと思います。



うえ の ひろ ゆき
上野 浩之
西那須野 R C
(株)栃木銀行 西那須野支店
支店長

平成26年7月22日入会

ロータリー活動において、少しでも地域に奉仕し、お役に立てればと思います。



きぬ た ひで あき
羅田 秀顕
足利 R C
(有)彩電工芸
取締役

平成26年8月1日入会

現在、通勤面で東京と足利を往復する生活を送っております。宜しく御願います。



た の べ たか お
田野辺 隆男
宇都宮 R C
NHK宇都宮放送局
局長

平成26年8月7日入会

芳賀町の出身です。入局31年目の故郷勤務。栃木の情報を全国に発信します。



はん だ なお ゆき
半田 尚之
宇都宮陽北 R C
(有)新輝塗装社
代表取締役

平成26年8月12日入会

よろしくお願いいたします。



かわ い やす じ
川合 康司
大田原 R C
大田原公証役場

平成26年8月21日入会

初めての地に来ました。早くこの地に馴染み、有意義な生活を過ごしたいです。



ひと み つとむ
仁見 勉
小山 R C
足利小山信用金庫
理事 小山営業部長

平成26年8月21日入会

ロータリーの実践に向け、日々努力していきたいと思っています。



わ だ ひとし
和田 均
宇都宮 R C
和田工業(株)
代表取締役

平成26年9月1日入会

ロータリーで何が出来るか向う上心をもってチャレンジ精神で活動させていただきます。



いけ がめ ぜん き
池亀 善紀
田沼 R C
種徳院
住職

平成26年9月4日入会

宜しく御願います。



か のう とし ひで
加納 敏秀
小山中央 R C
(株)加納不動産
代表取締役

平成26年9月8日入会

諸先輩方のご指導のもと、地域貢献して参りたいと思います。宜しく御願致します。

物故会員 謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。



物故
平成26年7月31日
享年86歳
まつ むら まこと
松村 誠 様
氏家 R C

- ◆ロータリー歴
高根沢ロータリークラブ 特別会員
1980～1981年度 会長
1979～1980年度 幹事
1983～1984年度 地区委員
1996～1997年度 分区代理

- ◆財団、米山記念奨学会などの寄付歴
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー 2回
ボール・ハリス・準フェロー
米山功労者 6回
ベネファクター



物故
平成26年8月4日
享年89歳
よし おか せい いち
吉岡 精一 様
大田原 R C

- ◆ロータリー歴
1980～1981年度 職業奉仕委員長 (理事)
1981～1982年度 副会長
1984～1985年度 副幹事
1985～1986年度 幹事
1988～1989年度 社会奉仕委員長 (理事)
1988～1990年度 副会長
1990～1991年度 会長
1994～1995年度 第一分区 分区代理
1999～2000年度 IM実行委員長
その他にクラブ奉仕、職業分類、会員増強、会員先行、出席、プログラム、広報、雑誌、史料などの委員長を歴任

- ◆財団、米山記念奨学会などの寄付歴
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー 3回
米山功労者 6回



物故
平成26年9月18日
享年78歳
さ とう ひで お
佐藤 秀夫 様
馬頭小川 R C

- ◆ロータリー歴
1986～1987年度 幹事
1998～1999年度 幹事
2000～2001年度 会長
2002～2003年度 第二分区 ガバナー補佐
2006～2007年度 幹事
2008～2009年度 会長
2012～2013年度 幹事

- ◆財団、米山記念奨学会などの寄付歴
2000年 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
2005年 第3回米山功労者(マルチプル)

第 2550 地区 8 月会員増強・出席報告

分区	クラブ名	例回数	8月出席率		会 員 数							
			今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性員
第1グループ	大田原	3	93.84	89.62	31	33	1	1	3	1	2	2
	黒磯	3	89.91	94.96	39	40	1	0	1	0	1	2
	西那須野	3	96.48	92.65	36	38	0	0	2	0	2	0
	黒羽	4	98.22	97.33	14	14	0	0	0	0	0	0
	那須	3	100.00	89.19	10	10	0	0	0	0	0	2
	塩原	3	77.80	80.00	9	9	0	0	0	0	0	3
	大田原中央	4	78.00	70.00	25	25	0	0	0	0	0	2
第2グループ	烏山	4	93.18	93.18	11	11	0	0	0	0	0	1
	氏家	4	68.75	73.76	25	24	0	0	0	1	-1	0
	矢板	4	76.20	70.30	19	19	0	0	0	0	0	4
	馬頭小川	3	88.30	88.53	20	20	0	0	0	0	0	0
第3グループA	宇都宮	3	70.80	71.70	97	100	1	0	3	0	3	0
	宇都宮西	3	77.40	79.85	73	72	0	1	0	1	-1	0
	宇都宮北	3	84.69	81.41	47	47	0	0	0	0	0	0
	宇都宮90	3	91.67	89.62	42	42	0	0	0	0	0	3
	宇都宮陽北	4	88.25	85.23	35	36	1	0	1	0	1	3
第3グループB	宇都宮東	4	95.79	95.37	106	105	0	0	0	1	-1	0
	宇都宮南	3	82.94	82.56	47	47	0	0	0	0	0	0
	宇都宮陽東	3	70.60	75.88	41	42	0	0	1	0	1	0
	宇都宮陽南	2	80.55	76.77	15	20	0	0	5	0	5	3
	宇都宮さつき	3	90.48	84.13	21	21	0	0	0	0	0	2
第4グループ	真岡	3	80.52	81.51	52	52	0	0	0	0	0	0
	益子	3	81.50	86.15	28	28	0	0	0	0	0	0
	真岡西	3	93.44	89.77	35	36	0	0	1	0	1	5
	しもつけ	3	94.62	93.76	32	32	0	0	0	0	0	7
第5グループ	小山	3	94.10	96.35	34	34	0	0	1	1	0	0
	小山南	4	100.00	97.79	21	21	0	0	0	0	0	4
	小山東	4	84.96	86.23	30	30	0	0	0	0	0	0
	小山北	4	88.80	85.03	20	20	0	0	0	0	0	0
	小山中央	3	83.00	82.50	26	26	0	0	0	0	0	2
	第6グループ	栃木	3	83.70	84.40	37	37	0	0	0	0	0
栃木西		3	90.28	84.62	29	29	0	0	0	0	0	0
壬生		4	93.75	91.23	16	16	0	0	0	0	0	1
第7グループ	日光	4	76.30	78.89	22	22	0	0	0	0	0	5
	鹿沼	3	86.95	86.59	62	62	0	0	0	0	0	1
	今市	3	86.99	86.43	40	41	0	0	1	0	1	0
	鹿沼東	3	94.02	91.76	39	39	0	0	0	0	0	3
	粟野西方	4	92.50	92.50	10	10	0	0	0	0	0	1
	鹿沼中央	4	90.91	81.25	22	22	0	0	0	0	0	1
	今市きぬ	4	93.97	95.26	28	29	0	0	1	0	1	1
第8グループ	足利	3	88.20	84.54	22	25	1	0	3	0	3	0
	足利東	4	79.16	78.87	53	54	0	0	1	0	1	8
	足利西	4	75.00	82.03	16	16	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	4	96.75	96.76	32	32	0	0	0	0	0	0
第9グループ	佐野	4	92.30	90.95	67	67	0	0	0	0	0	0
	葛生	4	83.10	88.50	33	34	1	0	1	0	1	0
	田沼	3	93.43	90.32	38	38	0	0	0	0	0	0
	佐野東	2	100.00	95.46	22	22	0	0	0	0	0	0
	岩舟	3	83.30	87.60	8	8	0	0	0	0	0	0
	51RC		87.23	86.26	1680	1706	6	2	31	5	26	74

文庫通信

(324号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演 他

- ◎ 「80 歳工ベレスト登頂～希望の奇跡」 三浦雄一郎 2014 8p (第 42 回ロータリー研究会報告書)
- ◎ 「世界遺産としての富士山」 井上 輝夫 2014 3p (米山梅吉記念館館報)
- ◎ 「違うことはいいことだ」 大宅 映子 2014 4p (D.2580 地区大会の記録)
- ◎ 「ピンチをチャンスに！」 東国原英夫 [2014] 11p (D.2790 地区大会記録誌)
- ◎ 「グローバル時代の企業経営」 張 富士夫 2014 4p (D.2760 地区大会記録誌)
- ◎ 「『お金の世界』から『いのちの世界へ』」 菅野 典雄 2014 16p (D.2510 地区大会記録誌)
- ◎ 「『顔が赤くなる人は酒を飲むな』って…!？」 岡村 健 2014 5p (福岡南 RC 月報)
- ◎ 「人間はいつ歳をとるのか」 牧田 静二 1998 2p (月曜短信)
- ◎ 「天皇・皇后両陛下にお仕えして」 羽毛田信吾 2014 4p (D.2600 下伊那グループIM & 会員セミナー報告書)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

コーディネーターニュース 8月号

(2014年7月9日配信)

第2ゾーンRC 金杉 誠

(文責、及び質問は
金杉 Makoto.Kanasugi@ysl.co.jp まで)

R I 戦略計画とコーディネーターの責務

この度、日本の3ゾーンのコーディネーターとアドバイザーで共通のニュースレターを配信する事とし、ガバナー会においてR I 理事よりその一部をガバナー月信に掲載するよう要請されました。ガバナーの皆様は是非クラブ会員の皆様方にも情報をお届け頂ければ幸いです。その趣旨はR I 戦略計画に基づき、各ゾーン3人のコーディネーターが任命され[ロータリーコーディネーター(RC)、ロータリー公共イメージコーディネーター(RPIC)、ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)]、それぞれ補佐も任命されておりますし、恒久基金/大口寄付アドバイザー(EMGA)も活躍されておりますが、クラブの皆様へのコーディネーター、アドバイザーの責務のご理解の促進と、日本の34の地区とクラブの戦略計画への取り組みの情報共有を目的としたものです。

世界全体の会員数は120万人前後と横ばい状態を続けているとともに、日本やアメリカ等ロータリー先進国が激減をしております。そのことに対して危機感を持ったR I は、10年以上の歳月と外部のコンサルタントや膨大な数のアンケート調査、理事経験者を中心とした沢山の議論を通じて、クラブリーダーシッププラン(CLP)をはじめとして様々な改革案を試み、その集大成ともいべきものがR I 戦略計画です。

R I 戦略計画には3つの重点目標があります。「クラブのサポートと強化」、「人道的奉仕の増加と重点化」、「公共イメージと認知度の向上」の3つで、それぞれの目標達成のために責任があるのがRC, RRFC, RPICの3人のコーディネーターです。R I 本部にはコーディネーター部が創設され10人ぐらいのスタッフが我々を補佐する体制になっておりますが、残念ながら日本国内においては一部の地区やクラブを除いてCLPの導入や戦略計画の立案は進捗していないのが実情です。日本全体では33人のコーディネーターと同補佐、及び3人のEMGAがおりまして、各ガバナーの皆様方のお手伝いをする体制が整っております(R I から予算もいただいております)が、残念ながら各地区の研修へ呼ばれることがまだまだ少ないのです。各地区の地区協議会や拡大増強セミナー、PETS、地区チーム研修セミナー等、積極的にお声をかけてください。喜んでお手伝いに参ります。

R I 戦略計画は120万人の為の計画ですから大変すばらしいものです。一方クラブの戦略計画という構えてしまうのも事実でしょう。大切なのは現在のクラブの活性化と3年後5年後のあるべき姿を、皆様方全員でしっかり話し合っていたきたいということです。20人のクラブと200人のクラブでは自ずと違ってきますが、要は皆様のクラブがこのままで本当に良いのか、皆様方の言葉で、皆様方の議論を通じて、真剣に考え意見を集約してくださいということです。現状に安住するのが一番楽ですが一番悪いことです。勇気をもって挑戦しましょう。私たちのより良いロータリーを作るために! ポールハリスも言っております。「ロータリー物語は時代とともに何度も書き換えられるでしょう」と。

8月号 ロータリーの友を読んで

大田原RC 伊藤 一男

8月は会員増強・拡大月間ということ念頭に置いて、横組み「R | 会長メッセージ」の「会員増強で奉仕の仲間を増やす」を読みました。

8月7日、私の所属する大田原RCの会員の寺院において、物故者追悼（計85人）を行いました。私どものクラブでは自分が引退した時に息子に継承するのが一般的であり、追悼の後、例会で会員増強について、「R | 会長メッセージ」の内容を伝えました。

縦組み「友愛の広場」、坂戸RC・木藤文雄会員の「91歳の現役ロータリアン」を読んで、立派の一言で、感激しました。大田原市内には大田原RC（34人）、大田原中央RC（25人）という2つのクラブがあります。大田原RCの最年長は89歳で在籍38年、在籍最長は49年、最年少は46歳、平均年齢は65歳です。例会や行事でいつも話題になるのは、平均年齢が高いので、若い人を育てよう、という話です。大田原中央RCは若い人が多く、どうしたらよいか考案中です。

9月号 ロータリーの友を読んで

大田原RC 蜂巢 貞美

9月は新世代のための月間であるとの認識を新たにしました。新世代のために支援し、彼等に学んでもらうことは私達も学ばせてもらうことになるということ、そして彼等を育てることは将来のロータリーの人材や思想拡大にもなるということ認識させられました。

また新世代のために素晴らしいプログラムを実現実施している数多くの活動を知ることができ、我クラブのやるべきことは何かと考えられました。

またロータリーとは何かとの質問に戸惑いますが「親睦や慈善や奉仕の前に、まずは倫理性があるということ」、クラブではあの人に会えるからとか素晴らしい卓話が聞けるからというようなロータリー例会にしたいものだと思える9月号でした。

地区内主要行事

2014年10月 5日(日)	1年交換学生選考試験
2014年10月12日(日)～13日(月)	米山学友会総会・研修旅行
2014年10月13日(月)	宇都宮さつきロータリークラブ チャーターナイト
2014年10月25日(土)	2015-16年度 第1回ガバナー補佐研修会

お知らせ

事務所移転 今市きぬRC (2014.10.1～)

新事務所：〒321-1273 日光市吉沢230-10 村上 朱美 様方 TEL/FAX 0288-21-4093

お詫びと訂正

ガバナー月信7月号 15頁 クラブ例会場・事務所一覧に誤りがありました。
足利ロータリークラブ事務所 足利市堀米町(誤) → 足利市堀込町(正)

ガバナー月信9月号 9頁 地区内主要行事 IM開催に誤りがありました。
2014年11月8日(土) 第8グループ(誤) → 第8グループ・第9グループ(正)

訂正しお詫び申し上げます。



ロータリーレート / 1 \$ = 106円

国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒320-0826 宇都宮市西原町142

宇都宮グランドホテル内

TEL 028-651-2550 FAX 028-651-2551

E-mail m2550@agate.plala.or.jp URL <http://www.rid2550.com/>

※各ロータリークラブでお知らせしたい情報がありましたら、事務局まで原稿をお寄せください。